

(1) UMAPの概要及び設立の経緯

TOP — 国立大学協会の情報 — 國際交流・大学の国際化 — アジア太平洋大学交流機構（UMAP） — (1)
UMAPの概要及び設立の経緯

(1) UMAPの概要及び設立の経緯

【UMAPの概要】

「アジア太平洋大学交流機構（UMAP: University Mobility in Asia and the Pacific）」は、高等教育分野における政府、又は非政府の代表からなる任意団体であり、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として、1991年（平成3年）に発足しました。そして、1998年（平成10年）8月、バンコクで開催された第6回総会において、UMAP憲章（UMAP Constitution）  が採択されました。（その後、2001年（平成13年）、2005年（平成17年）、2013年（平成25年）、2020年（令和2年）に一部改正。）

憲章では、UMAPの目的は、「アジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生と教職員の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって、域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解をさらに深めることである」と規定されています。

また、UMAPの目標は以下のとおり定められています。

1. 大学間交流促進の阻害要因を特定し、それを解決すること。
2. 参加国・地域における二大学間、多大学間及びコンソーシアムによる交流を促進すること。
3. 単位認定及び互換のためのシステムを開発し、整備すること。

【UMAP設立の経緯】

1991年（平成3年）、オーストラリア政府の協力のもと豪州大学長協会（AVCC）は、日本・韓国・台湾・香港の大学関係者を招き、アジア太平洋地域の教育分野の協力について話し合うための会議（1991年4月香港、同年9月キャンベラ）を開催しました。キャンベラの会議では、18の国と地域が出席し、これらの参加国が集う会議を総会とすることを決議し、UMAP第1回総会となりました。

1998年（平成10年）8月にバンコクでUMAP第6回総会が開催され、以下の項目を可決しました。

- 1. UMAP憲章の採択**
- 2. UMAP国際事務局の設立**
- 3. 国際事務局を包括する国際理事会の設置**
- 4. UMAP単位互換スキームの試行**

なお、「UMAP国際事務局（UMAP International Secretariat: UMAP IS）」は、1998年（平成10年）4月に日本（東京大学駒場キャンパス内）に設置された後、2001年（平成13年）5月に（財）日本国際教育協会（現独立行政法人日本学生支援機構）東京国際交流館プラザ平成1Fに移設されました。

その後、UMAP国際事務局は、2006年（平成18年）3月にタイ、2011年（平成23年）1月に台湾への移転を経て、2016年（平成28年）1月に再び日本（東洋大学内）に移転設置され、2021年（令和3年）1月に力ナダへ移転しました。